



市川市の教育 基本理念
「人をつなぐ みらいへつなぐ 市川の教育」

市川の教育の目指す姿

○互いを認め合い、自分の思いを実現できる子ども
○誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域

学校教育目標【地域、家庭、児童、職員のすべてが当事者】

【Well-being ~すべての子供たちが幸せを実感できる学校~】

- ・自分のよさや可能性を認識できるようにし、子どもに自信をもたせること。(自己認識)
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、子どもの居場所をつくること。(相互尊重)
- ・社会に開かれた教育課程により多様な人々と協働し、「人のため」を大切にすること。(他者貢献)

【自学】自ら進んで学ぶ子を育てる(能力)

【自律】自分を高める子を育てる(能力)

【具体的な姿】

- 興味・関心を持って主体的に学習することができる。
- 失敗を恐れず、チャレンジすることができる。
- 粘り強く探究することができる。
- 見通しを持って計画的に学習することができる。
- 物事をより良くしようとする考え方方が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

【具体的な取組】

- 基礎的・基本的な学習内容の定着
 - ・読書活動の推進と教科での図書資料の活用。(読む)
 - ・調べたことをまとめる機会を設ける。(書く)
 - ・まとめたことを発表する機会を設ける。(話す・聞く)
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導目標の明確化
 - ・探究的な学びを推進する。
 - ・児童の主体的な学びの場を意図的に与え、適切な評価を行う。
 - ・児童に学びを促す時は、「自己決定」させ、「自己有用感」を持てるようにする。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・自分の課題を自分の方法で学ぶ機会を増やす。
 - ・友達や大人たちと共に課題を解決する機会を増やす。
- 人と人をつなぐICT
 - ・ICTと対面授業のハイブリッドな学習を実現する。
 - ・一人ひとりの学習状況に関するデータを連動させ、効率的で効果的な支援を行う。
- 教科担任制、ローテーション授業、少人数指導、専科指導、まなびくらぶ

みんなでつくろう幸せな学校

【目指す子どもの姿】

- 【自学】自ら進んで学ぶ子(学力)
【自律】自分を高める子(学力・心・体)
【共育】互いを認め合える子(心)
【健康・体力】進んで健康な体をつくる子(体)
【地域】すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

【目指す教職員の姿】

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------|--|--|
| 1 安全・安心 | 2 礼儀正しさ | 3 演技・演出 | 4 効率・能率 |
| ① 人的環境で
② 物的環境で
③ 組織で対応 | ① 児童に
② 保護者に
③ 同僚に | ① やる気にさせるため
② ベストを尽くさせるため
③ 自信をつけさせるため | ① 学習指導の場面で
② 生活指導の場面で
③ 事務業務の場面で |

【共育】互いを認め合える子を育てる(心)

【自律】自分を高める子を育てる(心)

【健康・体力】進んで健康な体をつくる子を育てる(体)

【自律】自分を高める子を育てる(体)

【具体的な姿】

- 仲間を大切にしながら、共に成長することができる。
- 他者のよさを見つけ、それを認めていくことができる。
- 誰にでも平等に接することができる。
- 探究的な学習や体験活動等の場で、多様な人々と協働することができる。
- 物事をより良くしようとする態度が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

【具体的な取組】

- 誰一人取り残さない学びの保障
 - ・サポーターを活用し、個のニーズに応じた支援を実施する。
 - ・ICTを活用し、家庭と連携して学びを確保する。
- 切れ目のない支援
 - ・スマイルプランを活用し、保護者や児童への継続したきめ細やかな支援体制を提供する。
- 多様な学びの場
 - ・SSRの活用、情緒学級、ゆとろぎや学級と連携し、児童の居場所づくりに努める。
- 他者とのあたたかな人間関係づくり
 - ・道徳教育、人権教育を推進する。
 - ・縦割り活動(掃除、大野っ子タイム、ペアタイム)
 - ・計画委員会、学級会等、児童が自己決定できる場を設定し、適切な評価をして認め、自信を持たせる。
 - ・明確な課題と目標を設定し、努力できるよう支援する。

【具体的な姿】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣を身につける。
- 食と健康に関する興味関心を高め望ましい食習慣を身につける
- 生涯を通じて、運動やスポーツに親しむ。
- 物事をより良くしようとする考え方や態度が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

【具体的な取組】

- 「運動大好き!」な子どもたちを育てる。
 - ・大野っ子タイム、委員会活動、正課体育の充実を図る。
 - ・スポーツチームと連携し、本物に触れる機会をつくる。
- ヘルシースクールの推進
 - ・全学年において、教科等横断的な視点で食育を推進する。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につける。
 - ・健全な食生活を実践するための正しい知識を普及・啓発する。
- 危険予知能力及び回避能力の向上

【地域】すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

【具体的な取組】

- 学校運営協議会、地域学校協働活動本部の効果的な運営・活用
- 地域や企業の教育資源の積極的な活用
 - ・学校支援実践講座、多文化共生講座、SNC、サマースクール
- 子どもの教育を通した地域活性化への貢献
 - ・サマーフェスティバル、夏祭り、ウォークラリー等の参加